

2022年8月26日

大分県知事 広瀬勝貞 殿
大分県教育庁 岡本天津男 殿

日本共産党大分県委員会
県委員長 林田 澄孝
日本共産党大分県議団
堤 栄三
猿渡久子

統一協会（世界平和統一家庭連合）による集会やイベント等に関する関係についての調査及び今後の関係を持たないことに対する要請

統一協会は自ら「旧約・新約聖書を教典に『原理講論』を教理解説書とする」としていますが実態はそうではありません。聖書の言葉を断片的に使っていますが教義の本質があるのは「祝福」と「万物復帰」です。

ここでいう「祝福」とは集団結婚。信者にとって最高の救いとなる重要儀式です。誰が祝福メンバーに選ばれるのか、相手（相対者）が誰かは本人の意思ではなく組織が決めます。相手の国籍や人種がどうあろうと拒否できません。

もう一つの主要な教えが「万物復帰」。この世の人も財もすべて神のものであり、サタン（一般社会）のもとにある宝を本来の所有である神＝文鮮明に「復帰」させることは善であり救いとなる。正体を隠した詐欺的伝道も靈感商法もこの教えによって合理化されます。

「霊界で苦しむ先祖を救うため」「運勢の転換のため」と多額の献金をくり返し、「神が求めているから」と不動産を担保に入れて金をつくる。「これを授からないと救われない」と印鑑やつぼを売りつけ、福祉や難民救済を装ってカンパを集め訪問販売をする。そんな活動の総称が靈感商法です。

以上のような反社会的なカルト集団に対し、県として関係性を持たないことなど、以下のように要請いたします。

- 1 これ以上の被害を生じさせないため、統一協会及び関連団体と一切の関係を持たないこと。
- 2 統一協会や関連団体の集会やイベントに、職員の派遣・参加、祝電、メッセージ送付及び後援名義の使用許可など、県と統一協会との関係を調査し明らかにすること。
- 3 灵感商法などの被害にあった方がたに対する相談窓口を設置すること。